

馬場市長所信表明

歩いて暮らせるまちをめざして



開催中の22年第1回市議会定例会



馬場市長 所信表明を行います。

はじめに

昨年12月20日に執行された東久留米市長選挙で、多くの有権者のご支持をいただき、第7代東久留米市長に就任させていただきましたことになりました。あらためて市長という職の責任の重さを痛感しているところです。

3月1日から23日までの会期中、22年第1回市議会定例会が開かれています。昨年12月20日に行われた市長選挙で当選した馬場市長は、就任後初めての市議会に臨み、市政運営の基本方針および当面の課題に対する所信を明らかにし、市民ならびに市議会の協力を求めました。今号では、そのあらましをお知らせします。詳しくは企画調整課 ☎470・7702へ。

1、市民参加と市民対話とともに歩むまち

私は、選挙を通じて「歩いて暮らせるまち」をコンセプトとして暮らせるまち「コンパクトシティ東久留米」という私の理想とするまちづくりの考え方を示させていただきました。この考え方は4年間の任期中、市政運営の根本に据えていく所存です。そして、情報公開市民参加、市民との対話による合意形成に努めていきたいと考えております。

2、にぎわいと安心のあるまち

私は、市民こそが自治の主体者であると考えています。このために、情報公開によって説明責任を果たし、また、タウンミーティングを開催し、市民との対話の機会を持つことを通じて、市民参加を保障するとともに、市政運営の基本を定める条例の制定も視野に入れてまいります。

安心・安全なまちのための仕組みづくり

子育て・福祉・医療 施策の充実 私は、誰もが直面する場面に適切な行政サービスを提供し、みんなで支え合って安心して暮らせるまちにしていきたいと考えています。保育所の待機児ゼロを目指す取り組みを始めとする子育て支援、小児医療・周産期医療の充実、介護予防、地域包括ケアサービスの充実を始め、必要な高齢者福祉、医療を提供していきたいと考えています。

3、水とみどりの保全、自然との共生のまち

落石川と南沢湧(ゆう)水群は、平成の名水百選に選定された市民共有の宝です。さらに、屋敷林や緑地保全地域と残された農地が醸し出す風景は、ふるさとを感じさせる大切なものです。私たちは、

5、将来にツケを残さない市民のための行財政改革

4つの柱に基づく施策を展開していくためにも、そして市政の安定的運営のためにも行財政改革が必要になります。私は、当面、次の3つの改革に取り組めます。

無駄を排除する改革

市の財政状況は20年度決算が示すとおり、単年度収支は赤字、経常収支比率は99.3%という深刻な状態にあります。そして、22年度は大幅な歳入減少が見込まれており、当面、歳入改善は望めないものと考えます。したがって、人件費を含め事務事業を総点検し、健全な財政運営を目指

新しい公共の構築

私は、市民のための行財政改革は、行政を市民とともにつくる「市民的公共」へと変えていく改革であると考えています。行政と市民、団体そして地域の事業者が協働し、公共サービスを拡充して、市民生活の質を向上させていく「新しい公共」の構築に取り組むとともに、「公」が果たす役割を明確にしながら、行政の外部化・市民化を進めたいと思

行政組織運営の改善

市民の負託に応えられる市役所であるために、職員一丸となって行政組織運営の改善に取り組めます。この改善に当たっては、とりわけ人材育成を重視いたします。

22年度予算編成

最後に、22年度予算について申し上げます。市長就任から、短い間で予算の精査を行うことは困難でした。このため、新年度の行政運営経費について暫定予



南沢湧水群は市民共有の宝

《今号の主な内容》

- ・3月末で第八小学校が閉校します
- ・第1回市議会定例会を開催中
- ・⑦医療証を送付します
- ・飼いの登録と狂犬病予防注射を実施します

2面 3面 4面 8面

市ホームページに掲載する「パナー広告」を募集中!!

3月26日(金)までに、申し込みを。詳しくは5面をご参照ください。

